

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和元年12月23日 NO.8 芦安小学校長

2学期を振り返って

今年の秋は、いつもの年より暖かい日が多く、過ごしやすかったように思いました。しかし、インフルエンザの流行は始まっており、県内のいくつかの学校では、学年閉鎖や学級閉鎖になっている学校があります。今後ますます寒くなり、流行が拡大すると思いますので、体調にはくれぐれもご留意ください。

8月23日に始まった2学期ですが、普段の授業はもちろん、たくさんの行事を通して、子供たち一人一人はそれぞれの学年に応じた確かな成長を積み上げてきたと感じています。また、行事が成功し、子供たちが笑顔あふれる喜びを感じることができたのは、保護者の皆様や大勢の地域の皆様のご協力があったからこそと感謝しております。ありがとうございました。

8月24日(土) PTA奉仕作業

校庭や農園が見違えるほどきれいになりました。

9月21日(土) 芦安ふれあい運動会

雨模様でしたので第2プログラムにて実施しました。小中一貫校となったのをきっかけに、中学生も一緒になって行い、まさに地域を挙げての芦安ふれあい運動会となりました。



10月13日(日)

地域ふれあい道徳公開授業・芦安地区教育を語る会
郷土を愛する心を育み、心豊かな児童生徒に成長してほしいと願い実施しました。

今年度は、芦安地区在住の伊井和美様から、甲斐犬についてお話を聞いたり、甲斐犬とふれあったりしました。

11月16日(土) あしやす文化祭

小中学生が一緒になり太鼓の演奏をしました。地域の方々の発表もあり大盛況でした。



12月 5日(木) 焼きも集会

学校農園で育てたさつまいもを使って焼きも集会を行いました。さつまいもが焼けるまでは、地域の方々と一緒にグラウンドゴルフをして楽しみました。



12月25日から1月7日までは、14日間の冬休みになります。この時季は、あわただしくも活気にあふれるときです。

また、寒い季節でもありますので、体調にはくれぐれもご留意され、よいお年をお迎えください。

保護者の皆様・地域の皆様に支えられ、今年も無事終われそうです。今後も児童生徒のことを最優先に考えた小中一貫教育を推進してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年は子(ねずみ)年です。ねずみ年はどんな年なのか、インターネットで調べてみました。

ねずみ年の「子」の字には増えるという意味がありました。よって「子孫繁栄」の年になるという考えが多いです。ねずみ年は繁栄の年です。経済だけでなく世の中も盛り上がることでしょう。過去を振り返ってみると、過去のねずみ年にも様々に盛り上がった出来事がありました。

1960年(昭和35年)には、池田内閣が出した「所得倍増」政策により、経済は飛躍的に伸びました。

1972年(昭和47年)は、札幌でアジア初の冬季オリンピックが開かれました。札幌オリンピックでメダルを独占した日の丸飛行隊。

1996年(平成8年)は、アムラーファッションやルーズソックスが流行しました。

2008年(平成20年)は、ノーベル賞に4人の日本人が選ばれました。

ちなみに、5年生が生まれた平成20年のねずみ年には、日本人4人がノーベル賞を受賞した他に、

「北京オリンピックが開催され、エース上野由岐子の女子ソフトボールチームが優勝」

「6月14日、岩手県内陸南部を震源地とするマグニチュード7.2の岩手・宮城内陸地震が発生」等の出来事がありました。

また、「グ〜！」(お笑い芸人エド・はるみのギャグ)、「ゲリラ豪雨」(いきなり局所的に発生する集中豪雨)、「なんも言えねえ」(北京五輪男子100メートル平泳ぎで金メダルを獲得した北島康介選手がプールから上がって述べた感想)等が流行語になりました。

映画「崖の上のポニョ」が流行したのも平成20年でした。

2020年は何と言っても、世界的な大きな行事として「東京オリンピック」が開催され、多くの日本人の活躍と共に日本中が大盛り上がりすることはまちがいないと思います。

児童生徒一人一人にとっても充実した1年になりますように期待しています。

